

株主の皆様とテクマトリックスをつなぐIRマガジン「テクマティズム」

# TECHMATISM

TechM@trix

証券コード 3762

第34期 第2四半期報告書

2017年4月1日から2017年9月30日まで

*Insight into the future*

いたるところで  
テクマトが。



テクマトリックス株式会社



産業構造の変化の潮目を捉え、事業構造の転換に向けて  
変化を強く意識した戦略を打ち立てていきます。

代表取締役社長  
由利 孝

「テクマトリックスの次の30年を考える委員会」のメンバーたちと

### 2018年3月期第2四半期までの状況

企業のIT投資の動向は、引き続き前向きな姿勢を維持しており、特に情報セキュリティ関連については、サイバー攻撃の巧妙化など脅威の拡大を受け、官・民ともにますます需要が高まっている状況です。また、IT投資の方向性としては、設備の「所有」からサービスの「利用」への変化が加速しており、当社が注力するクラウドサービスへのシフトによって追い風となっている状況です。

そうした中で、当社の第2四半期累計期間における連結業績は、売上高はおおむね計画に沿った増収を果たしましたが、利益面は一部不採算案件の発生と子会社における技術者の一時的な稼働率低下により計画を下回り、営業利益は減益となりました。これらの計画未達要因については、い

ずれも第2四半期までに対応を終えており、下期は損益を挽回できる見通しです。

情報基盤事業では、ランサムウェア等の標的型攻撃に代表されるサイバーセキュリティの脅威が高まったことに

### 第2四半期決算ハイライト

	前第2四半期 (百万円)	当第2四半期 (百万円)	前年同期比
売上高	10,397	11,028	6.1%
営業利益	595	556	6.5%
経常利益	608	697	14.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	389	447	15.0%

より、次世代のファイアウォール製品や未知の攻撃にも対応できるAIを活用した次世代アンチウイルス製品の引き合いが増加するなど、セキュリティ製品・サービスの売上を伸ばしました。ネットワーク関連は、当社独自のクラウドサービス「テクマクラウド」を用いたトラフィック制御サービスを投入し、好調に推移しました。しかし、SES事業の構造改革に取り組んだクロス・ヘッド株式会社においては、技術者の一時的な稼働率低下が生じ採算が悪化しました。

アプリケーション・サービス事業では、CRM分野およびインターネットサービス分野の大型案件において一部不採算が発生したものの、他の分野はいずれも好調に推移しています。金融機関向けのシステム開発は、継続的な受託開発により堅調を維持し、ソフトウェア品質保証分野も、自動車業界等を代表とする製造業における品質向上・機能安全の必要性が高まる中で受注を伸ばしました。医療分野は、医療情報クラウドサービス「NOBORI」が順調に導入実績を積み上げており、売上・利益ともに計画を上回りました。

## 中期経営計画「TMX 3.0」と今後の方向性

当期は、2016年3月期から始動した3か年中期経営計画「TMX 3.0」の最終年度です。本計画は「クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進」と「セキュリティ&セイフティの追求」を事業戦略に掲げ、コストダウンによる高収益化を目指すオペレーション戦略とともに推進しています。当第2四半期累計期間における連結業績も、おおむね中期経営計画に沿って進捗を続けています。当期の通期業績は、売上高240億円、営業利益20億円、経常利益22億円、親会社株主に帰属する当期純利益14億円となる見込みです。

事業戦略では、CRM分野の拡大や医療分野の収益化を図りながら、インターネットサービスや情報基盤事業においてもクラウド活用を進展させ、またセキュリティ対策の高度化や組み込みソフトウェアの機能安全実現に向けて新技術を導入し、業績の向上につなげてきました。

オペレーション戦略では、ベトナム・中国のオフショアを利用したソフトウェア開発によるコストダウンが進

## 中期経営計画「TMX 3.0」

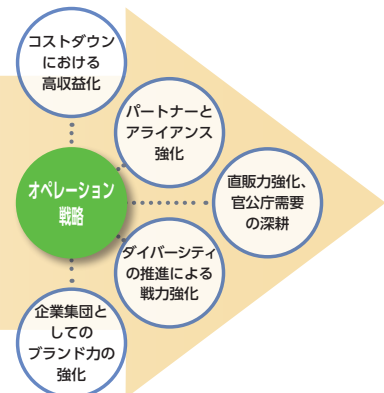
### 「TMX 3.0」: 次の30年に向けた 土台固めと方向付け(成長遺伝子の確立)

#### 基本方針

従来のIT産業の労働集約的な  
請負型ビジネスから脱却し、  
自らITサービスを創造し、ITサービスを提供する  
「次世代のITサービスクリエイター」、  
「次世代のITサービスプロバイダー」  
への姿を継続する

#### 事業戦略

クラウド関連事業の  
戦略的・加速度的推進  
セキュリティ&  
セイフティの追求





み、さらにオペレーションの自動化技術を導入した業務効率改善にも着手しています。

当社は現在、これらの取り組みの総仕上げをしながら、これから目指していく方向性を見据え、次期中期経営計画の策定に向けて討議を進めているところです。今後は、デジタル技術が生活の隅々まで浸透する社会の中で、データが価値を生む時代へと産業構造が大きく転換していきます。その変化を強く意識し、クラウドサービスを通じて集約・蓄積されるビッグデータを新たな知見の獲得につなげ、幅広い分野で活用していくことが大きな成長の鍵となるでしょう。当社は、こうした産業構造の変化を捉え、より一層の独自付加価値の追求に向けて事業構造改革を加速させる必要があります。

したがって、次期中期経営計画においては、「TMX 3.0」で実行してきた土台固めと方向付けに基づいたうえで、新しい技術やビジネスに貪欲に挑戦し、社員一丸となって新たな未来を切り拓いてゆく3年間になると考えています。

### 在宅勤務制度の導入など人材施策について

当社は、この10月から全社員を対象とする「在宅勤務制度」を導入しました。これは、社員の自発的活動である「テクマトリックスの次の30年を考える委員会」を中心に議論と検証を重ね、情報セキュリティのインフラの確保や人事制度の整備を経て、導入に至ったものです。育児負担の軽減策の一助として、また高齢化社会に対応した介護支援として、働く時間と場所の自由度を高めるとともに、社員一人ひとりが自らの能力を最大限発揮できる働き方を実現し、仕事の質や生産性を向上させることを期待しています。

「テクマトリックスの次の30年を考える委員会」は、この他にも事業部間のコミュニケーション活性化に向けた社員交流イベントの開催や、社員が家族とともに社内で過ごし、会社とのつながりを深めるファミリーデーの実施など、さまざまな施策に主体的に取り組んでいます。

### 株主の皆様にお伝えしたいこと

当期の期末配当は、前期比3円増配の1株当たり18円を予定しています。今後も、従来の配当性向20%以上を基本とする還元方針に基づき、通期業績の利益水準に合わせて随時増配の検討を続けてまいります。

中期経営計画「TMX 3.0」総仕上げの期間を迎え、当社は、これまで進めてきた各戦略による取り組みを確実に成果として積み上げてゆきます。同時に、さらなる成長ステージを目指す次期中期経営計画においても、業界全体の動向や産業構造の変化を確実に掴み、当社のより一層の発展を皆様にお約束できるよう、邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、これからも引き続き当社へご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

社外取締役から見たテクマトリックス

当社の社外取締役である、佐々木英之氏にお話を伺いました。

自由闊達な会社の一員として、経営をサポートしていきます。

■ 他に類を見ないオープンかつフラットな社風から生まれる強み

常勤の取締役監査等委員としてテクマトリックスの経営に参画して数か月が経過しました。7月に開催されたイベント「テクマトリックスファミリーデー」では、社長自らが綿菓子作りをしたり、オフィスに招いた従業員のかわいいお子さん達との名刺交換を行いました。また、10月の事業部間交流会では業務終了後に大会議室で飲食しながら、役員も含めてお互いの仕事の苦労話や成功談等に花を咲かせるイベントにも参加しました。これらのイベントへの参加を通じて、テクマトリックスのオープンでフラットな社風を感じています。

これまで金融業や製造業に勤め、多くの国々で海外駐在も経験してきましたが、そうした過去のさまざまな職場と比較しても、当社は際立って風通しが良いと思います。ピラミッド型でない組織の中で、対等に意見を交わしながら積極的にチャレンジしていく企業文化が根付いているため、お客様のニーズや国内外の業界動向がスピーディーに経営に伝達され、技術力やトレンドへの目利き力につながっていると思います。

■ 外部の視点を積極的に経営に活かし、多角的かつ活発に討議

取締役会は、社外取締役が過半数を占め、ガバナンス体制として外部の視点を積極的に経営に活かす姿勢を感じます。社外・社内の役員がそれぞれの専門性を活かした多角的かつ活発な発言を行い、有意義に運営されています。特に社外取締役の発言を真剣に受け止め、それに基づき建設的な意見交換が展開されているので、社外取締役の一員としても、学ぶところも多く、良い相乗効果が生まれていると思います。

■ 全社員と経営陣による輪の中に加わり、今後の発展に寄与

連結1,000名以上の社員と経営陣が一つの輪となって絆を深めている会社の一員に迎え入れられたことは、私にとって大きな幸せです。

業界としても大きな技術的な発展の時代にいると思います。現在、そのただ中において、当社がスピーディーで挑戦的な社風を活かして、未来に向けて事業を発展させていく段階にあると感じています。その過程で、他の業界や海外での異文化経験で培ってきた第三者的な視点を活用し、監査・監督をすることにより、企業価値の一層の拡大と持続的成長に力を尽くしていきたいと思っています。



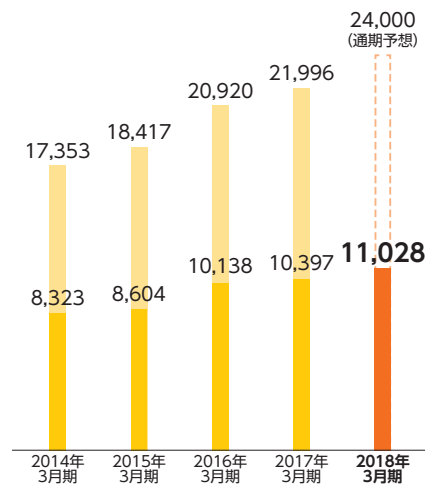
社外取締役(常勤監査等委員)  
佐々木 英之

プロフィール

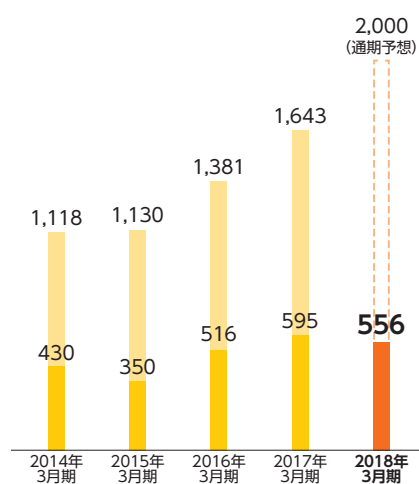
- 1978年4月 株式会社日本興業銀行  
(現 株式会社みずほ銀行) 入行
- 2001年4月 ルクセンブルグみずほ信託銀行  
社長&CEO
- 2005年1月 みずほコーポレート銀行  
(現 株式会社みずほ銀行)  
業務監査部 参事役
- 2007年6月 山陽特殊製鋼株式会社  
常勤監査役
- 2015年6月 第一リース株式会社 常勤監査役
- 2017年4月 当社顧問
- 2017年6月 当社監査等委員である取締役  
(現任)

損益の状況／資産の状況

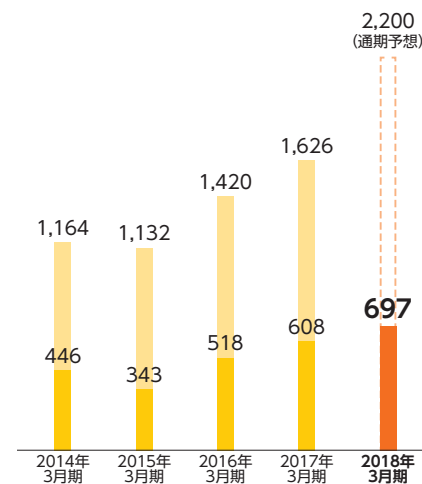
売上高 (百万円)



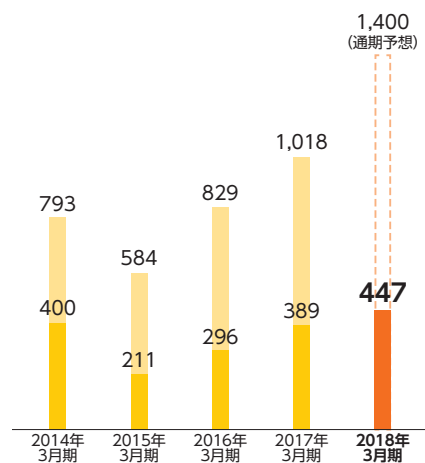
営業利益 (百万円)



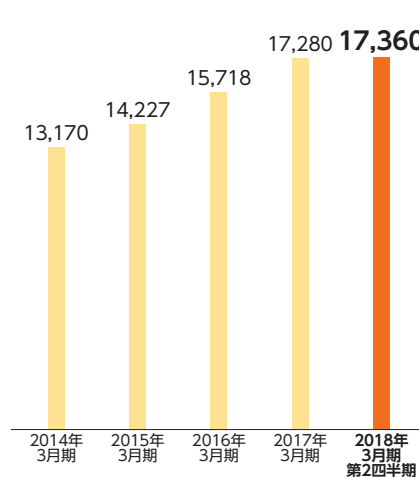
経常利益 (百万円)



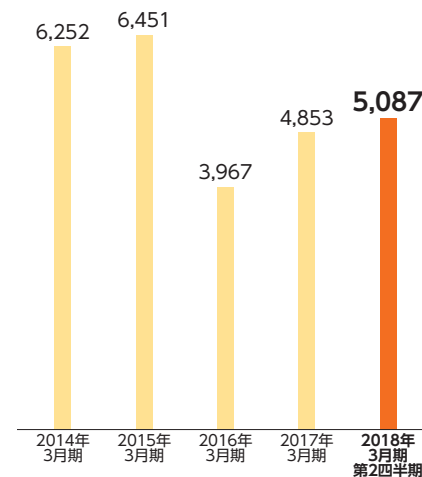
親会社株主に帰属する  
四半期(当期)純利益 (百万円)



総資産 (百万円)



純資産 (百万円)

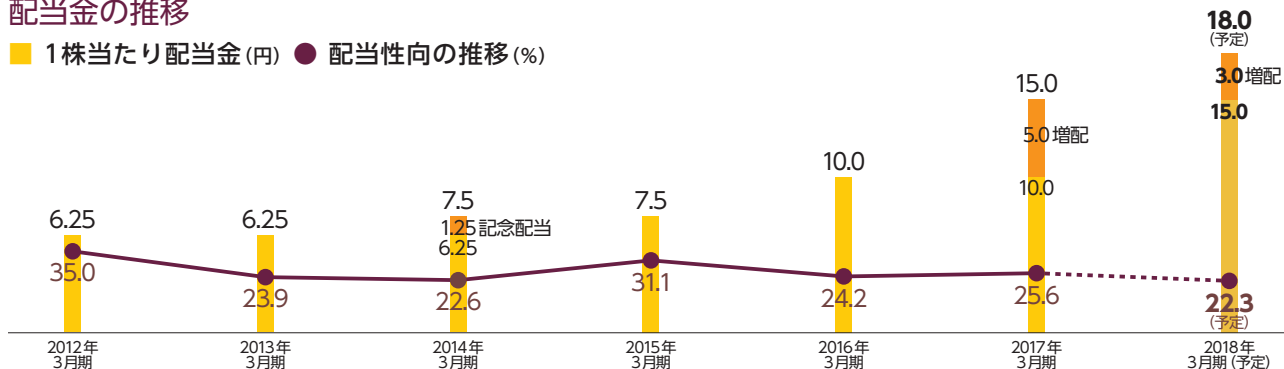


\* 純資産の減少は2015年8月21日に実施した自己株式取得によるものです。

# With Our Shareholders 株主インフォメーション

## 配当金の推移

■ 1株当たり配当金(円) ● 配当性向の推移(%)



※2013年4月1日付で株式1株につき200株の株式分割を行い、さらに2017年3月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っております。そのため2012年3月期期首にこれら株式分割が行われたと仮定して、配当金を表示しております。

※2018年3月期の配当性向は、2018年3月期の業績予想と、2017年3月期の期中平均株式数で算出しております。

## 利益配分に関する基本方針

当社は、株主価値の向上の一環として株主に対する利益還元を重要課題と位置付けております。利益配分に関する基本方針は、株主への利益還元と内部留保充実のバランスを総合的に判断し、決定しております。配当政策としては、期末業績における連結での配当性向20%以上を基本方針としております。この方針に基づき、2018年3月期の配当は1株につき18円とする予定です。

## 株主優待のご紹介

対象

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上の当社株式を保有する株主様

優待内容

500株以上

1,000円相当の商品または寄付

1,000株以上

3,000円相当の商品または寄付

人気が高い商品を中心に、より皆様にお喜びいただける内容を目指しています。

当社は、毎年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式を500株以上保有する株主様を対象に株主優待を実施しております。保有株式数に応じた価格帯から、食品や雑貨など好きな商品または寄付を1点お選びいただく内容となっております。

### 株主優待の一例



横浜本牧亭  
ビーフカレー中辛



十勝スイーツアイス



越後もちぶた  
しゃぶしゃぶ用

※写真はイメージであり、実際の商品と異なる場合がございますのでご了承ください。

## ■ 会社概要

商号 テクマトリックス株式会社  
(英語名: TECHMATRIX CORPORATION)  
設立 1984年8月30日  
上場 2005年2月18日  
証券コード 3762  
資本金 12億9,812万円  
従業員数 1,055名(連結)  
本社所在地 〒108-8588 東京都港区三田3-11-24  
国際興業三田第2ビル  
TEL: 03(4405)7800(代表)  
FAX: 03(6436)3500

## ■ 役員状況

代表取締役社長 由利 孝  
取締役上席執行役員 依田 佳久  
取締役上席執行役員 矢井 隆晴  
取締役執行役員 鈴木 猛司  
社外取締役 安武 弘晃  
社外取締役(常勤監査等委員) 佐々木英之  
社外取締役(監査等委員) 高山 健  
社外取締役(監査等委員) 三浦 亮太  
社外取締役(監査等委員) 杉原 章郎

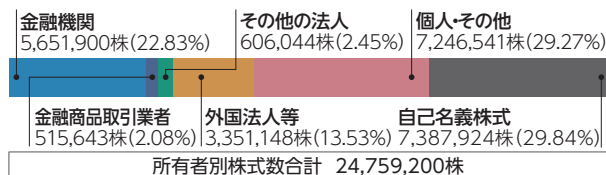
## ■ 株式の状況

発行可能株式総数 82,944,000株  
発行済株式の総数 24,759,200株  
株主数 5,169名

## ■ 大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
テクマトリックス株式会社	7,387,924	29.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,814,300	11.36
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,665,600	6.72
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	750,000	3.02
徳山 教助	707,600	2.85
テクマトリックス従業員持株会	578,500	2.33
GOVERNMENT OF NORWAY	562,900	2.27
THE BANK OF NEW YORK MELLON (INTERNATIONAL) LIMITED 131800	411,500	1.66
KIA FUND 136	261,328	1.05
TIS株式会社	244,400	0.98

## ■ 株式分布状況



## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月  
基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
株主優待 9月30日

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関  
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711  
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部  
公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告による事ができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  
公告掲載URL <http://www.techmatrix.co.jp/>

※株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い  
2017年8月14日付にて左記のとおり変更しております。



テクマトリックス株式会社 証券コード: 3762

〒108-8588 東京都港区三田3-11-24 国際興業三田第2ビル  
TEL: 03(4405)7800(代表) FAX: 03(6436)3500

